

【記入例3】 記入例1・2以外の場合

(文書番号) ●●●-▲▲▲▲号

日付: 令和 5年 4月 ●日

兼業依頼・許可申請(届出)書

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学長 殿

(〒) ▲▲▲-▲▲▲▲

所在地 大阪府堺市●● ●●-●●

名称 ●●株式会社

代表者 ●● ●●

下記のとおり、貴学職員に兼業を依頼したいので、よろしくお取り計らい願います。

記

兼業の内容について(該当する項目の□の中にチェック(又は■)し、必要事項を記入してください。)

① 兼業依頼職員 所属: 先端科学技術研究科 職名: 教授 氏名: 先端 太郎
② 依頼する役職名、職務内容及び勤務場所 役職名: 技術アドバイザー 職務内容: ○○に関する技術指導 勤務場所: 大阪府堺市
③ 兼業予定期間 ■ 新規 □ 継続 令和 5年 6月 1日(□許可日) ~ 令和 6年 5月 31日
④ 従事する職務の形態 ■ (年・月・期間内) ...1回・件 ...1回・件当たり...5時間程度 □ 毎週.....曜日(時分~時分) □ 集中講義.....時間 1日当たり.....時間程度 □ その他()
⑤ 報酬 ■ 有 ...30,000円 { 回・件・時間・日・その他() } □ 無
⑥ 旅費 ■ 有 □ 無
⑦ 貴機関等の種類及び事務担当者、連絡先、回答書について □ 国、独立行政法人、国立大学法人、地方公共団体、国・地方公共団体関係機関等 □ 学校法人(国・地方公共団体設置のものを除く。) ■ その他(事業内容: 電子材料・周辺機器類等の開発、製造) 担当者所属・氏名: 企画開発課開発製造係 能美 太郎 連絡先: 〒▲▲▲-▲▲▲▲ 大阪府堺市●● ●●-●● TEL: 06-●●●●-●●●● E-mail: ●●●●@×××.ac.jp HP: https://www.×××co.jp/index.html 回答書 □ 要 (□ E-mail □ 郵送(所定の様式 □ 無 □ 有)) ※ 回答文書は原則送付いたしませんので、必要な場合のみチェックしてください。
⑧ 上記兼業依頼について外部から開示請求があった場合、開示して差し支えのあるもの □ 法人等名(代表者名・事業内容を含む) □ 役職名 □ 職務内容

※本学使用欄のため記入不要

許可申請(届出)書 (申請(届出)者が記入) 上記依頼にかかる兼業を勤務時間外に従事したいので、申請(届出)します。 令和 年 月 日 氏名
事務受理年月日 令和 年 月 日 【北院大 第 号】
上記の兼業については、□ 差し支えない。 □ 差し支えあり。 令和 年 月 日 所属部局の長
上記の兼業を □ 許可する。 □ 許可しない。 令和 年 月 日(許可日) 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学長 寺野 稔